

## 標準委員会 第29回基盤応用・廃炉技術専門部会議事録

1. 日 時 2015年9月14日（月） 13：30～16：20
2. 場 所 5東洋海事ビル A+B 会議室
3. 出席者（敬称略）
  - （出席委員） 萩原（部会長），越塚（副部会長），吉田（幹事），石川，上野，北島，坂本，佐田，宿谷，西田，沼田，日比，宮坂，山口（途中退席）（14名）
  - （代理委員） 大島宏之（日本原子力研究開発機構／堺代理），中瀬辰男（関西電力／藤井代理）（2名）
  - （欠席委員） 伊藤，岡本，田中（3名）
  - （委員候補） 佐々木 学（日本原子力発電）（1名）
  - （常時参加者） 工藤（1名）
  - （説明者） [シミュレーションの信頼性分科会] 中田耕太郎（主査），田中正暁（幹事）（2名）
  - （事務局） 中越，谷井（2名）
4. 配付資料
  - ATC29-0 議事次第
  - ATC29-1 前回議事録（案）
  - ATC29-2 人事について
  - ATC29-3-1 “シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X” 公衆審査結果
  - ATC29-3-2 “シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X” 公衆審査における意見対応
  - ATX29-4-1 “発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準” 改定要否の検討結果
  - ATC29-4-2 “放射線遮へい計算のための線量換算係数” の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果
  - ATC29-5-1-1 改定要否の検討結果フォーマット（現行）
  - ATC29-5-2 標準委員会の活動基本方針の見直し（案）
  - ATC29-5-3 標準委員会・用語集のための用語選定及び定義統一について（その2）
  - ATC29-6 分科会の活動状況について

### 参考資料

- ATC29-参考1 基盤・応用技術専門部会委員名簿
- ATC29-参考2 標準委員会の活動状況

### 5. 議事内容

事務局から開始時点で委員19名中，代理委員を含む15名の出席があり，委員会成立に必要な委員数（13名以上）を満足している旨，報告された。

#### (1) 前回議事録（案）の確認（ATC29-1）

前回議事録（案）について事前に配付されていた内容で承認された。

#### (2) 人事について（ATC29-2）

事務局からATC29-2に基づき，専門部会及び分科会の人事についてそれぞれ下記の提案があ

り、審議の結果、確認、決議又は承認された。

1) 専門部会

①委員退任の確認

奥田 尚登(日本原子力発電)

②委員選任の決議

佐々木 学(日本原子力発電)

③委員再任の承認

宿谷 弘行 (テプコシステムズ)

(3) 【報告・審議】「シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X」公衆審査結果について (ATC29-3-1, ATC29-3-2)

事務局から ATC29-3-1 に基づき、“シミュレーションの信頼性確保に関するガイドライン 201X”の公衆審査結果、2名の意見提出者があったことが報告された。引き続き、シミュレーションの信頼性分科会の中田主査、田中幹事から ATC28-3-2 に基づき、意見対応について報告があった。

審議の結果、標準委員会において意見対応案を説明すること及び意見対応案は編集上の修正であると考えていることを標準委員会で説明することを決議した。ただし、配布資料 ATC29-3-2 の No. 11 (P11) の「総括不確かさ」に対する現在の回答(案)では、質問に対する説明が十分でなく、回答が不適切であるとの指摘があり、分科会の責において適切な回答に修正した上で、標準委員会での審議に上程することとなった。

(4) 【報告・審議】「発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準」及び「放射線遮へい計算のための線量換算係数」の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果について (ATC29-4-1, ATC29-4-2)

事務局から ATC29-4-1, ATC29-4-2 に基づき、“発電用原子炉施設の安全解析における放出源の有効高さを求めるための風洞実験実施基準”及び“放射線遮へい計算のための線量換算係数”の5年毎の改定・廃止の要否の検討結果について前回の部会では15日間の投票に移行することが決議されていたが、これらのフォーマット等については前回の標準委員会において標準活動基本戦略タスクで検討することとなり、その結果を踏まえて対応するため15日間の投票を延期していることが報告された。引き続き、事務局から標準活動基本戦略タスクでの検討結果は標準委員会で報告される予定であるため、この検討結果に基づき、再度5年毎の改定・廃止の要否について対応してはどうかとの提案があり、この提案を採用することが決議された。

(5) 【報告】標準委員会運営について (ATC29-5-1-1, ATC29-5-2, ATC28-5-3)

事務局から ATC29-5-1-1, ATC29-5-2 及び ATC28-5-3 に基づき、ATC29-5-1-1 の“改定要否の検討結果”フォーマットは廃止されたこと並びに今後所定の“改定要否の検討結果”フォーマットはないこと及び記載において参考となるマニュアルが作成されることが標準活動基本戦略タスクで検討されたこと、ATC29-5-2 の内容については再度見直していること、ATC28-5-3 については各専門部会長に対して作業の依頼があったことが報告された。

6. その他

(1) 次回第30回基盤応用・廃炉技術専門部会は、12月2日(水)13:30から開催することになった。

以上